

第7回

研究推進・若手交流支援企画

日本教師教育学会

教師の力量形成における実際とそのあり方
— 幼児期の教育と小学校教育を中心にして —

参加無料(非会員歓迎)

日時

2020年

3月8日 日 13:00-17:00 (受付開始12:40)

慶応義塾大学 三田キャンパス西校舎1階 [513教室]
東京都港区三田2-15-45

第1部

13:05~14:40 シンポジウム

話題提供者: 内田千春氏 (東洋大学)

近藤千草氏 (川村学園女子大学)

浅野信彦氏 (文教大学)

企画・司会: 望月耕太(神奈川大学)・渡邊巧(広島大学)

第2部

15:00~16:55 グループワーク

企画・司会: 沖奈保子(都立国際高等学校)・小田郁予(東京大学大学院生)
田中里佳(上野学園大学)

事前申込(2/29×切): jsste.wakate.kikaku2019@gmail.com

※氏名と所属をご記入の上、メールでお申し込みください(学会幹事: 沖・小田・田中・望月・渡邊)。

担当理事: 鹿毛雅治(慶應義塾大学)・前田一男(立教大学)・高旗浩志(岡山大学)

担当理事 鹿毛雅治・前田一男・高旗浩志

学会幹事 沖奈保子・小田郁予・田中里佳・望月耕太・渡邊巧

教師の力量形成における実際とそのあり方ー幼児期の教育と小学校教育を中心にしてー

これまでの「研究推進・若手交流支援企画」（過去 6 回実施）では、小学校から高等学校の教科教育に注目して、若手会員を中心に教師教育の実践や研究を共有しながら「教師の力量形成の実際とそのあり方」について議論を深めて参りました。所属や経験年数・年齢を問わず、様々な方々にご参加いただいております。

本企画（第 7 回）では、「教師の力量形成における実際とそのあり方ー幼児期の教育と小学校教育を中心にして」をテーマに、シンポジウムとワークショップを開催いたします。

幼児期の教育と小学校教育は、その連携・接続が進められております。幼小連携・接続のカリキュラムや教育実践のあり方は、関連する専門学会や教育委員会・学校園において議論が行われているところです。幼児期の教育（保育）は、“生活や遊びの中”で展開される一方で、小学校教育は、“教科等の授業を通して”展開されています。こうした文脈において、幼稚園教員・保育士（保育者）および小学校教員の力量形成は、それぞれどのように捉えられ、教師教育の実践や研究が行われているのでしょうか。幼稚園教員・保育士、小学校教員の養成・研修を担う“教師教育者”が、それぞれの考えや悩み、実際に連続的に議論しながら、両者の相違点や結節点を見出していくことが求められるのではないのでしょうか。このことは、「幼小」に留まらず「幼小中高大」の連携・接続を検討していくことに繋がると考えます。ぜひ、中等教育の教師教育にかかわる方々にもご参加いただきたいと思います。

今回は、幼児期の教育と小学校教育にかかわる教師教育の実践者・研究者をお迎えいたします。論点は、以下の 2 点です。

- 1) 幼児期の教育または小学校教育における教師（保育者）の力量形成をどのように考え、教師教育（養成・研修等）の実践や研究を行っているのか。そこでは、どのような課題があるか。
- 2) 幼小連携・接続を進めるために、教師教育（教師教育者）には何ができるか。

登壇者には、ご自身の教師教育（養成・研修など）の実践や研究を踏まえて、話題提供をいただきます。関連の先行研究にも触れつつ、語っていただきます。その後、質疑応答を行います。

会の後半では参加者相互で学びを深める機会として少人数でのグループワークを実施します。グループ間交流の時間も設けることで所属や専門の違いを超えて、参加者みなさんのそれぞれの視点や経験から学ぶ時間を設定いたします。多様な領域で活躍される参加者皆さんとの交流を通して、人を育てること、人を育てる人を育てる事について議論しあい、教師教育とは何かを積極的に交流していきたいと思っております。資料部数の都合上、メールにて事前申込のうえ、ふるってご参加いただきますよう、お願い申し上げます。当日参加も歓迎いたします。